

ゆずりは通信

(H29 年 9 月)



県庁インターンシップ特集号

高校生が県の仕事を体験する「県庁インターンシップ」が、平成 29 年 8 月 21 日（月）から 25 日（金）までの 5 日間実施されました。今年度は県立高等学校 70 校から 120 名の生徒が参加。知事部局・県民局に 19 名、県教育委員会に 59 名、県警察本部に 42 名が配属され、各所属で 1 週間、様々な仕事を経験しました。

総務課インターンシップ生が期間中に取材した教育委員会事務局各課でインターンシップを行った 22 名の仕事の様子と感想を紹介します。

① 所属名

総務課

② インターンシップ生配属人数（学校名）

2 名（龍野北高校、高砂高校）

③ 担当した業務

ゆずりは通信の取材・作成業務

会議・式典等の運営補助、秘書業務

④ 感想・コメント

事務以外にも幅広い業務を行っていました。

人と関わることが多いのでコミュニケーション能力が大切だと思いました。



① 所属名

教育企画課

② インターンシップ生配属人数（学校名）

2 名（宝塚西高校、篠山鳳鳴高校）

③ 担当した業務

教員に向けた授業のナレーション録音

各都道府県教育振興計画の整理

④ 感想・コメント

イメージ通りの仕事もあったけど、防災や情報教育もしているのが意外でした。メールの書き方や、名刺の渡し方も学びました。1つ1つ違う仕事を要領よくこなせるようになります。



① 所属名

財務課

② インターンシップ生配属人数（学校名）

1 名（伊丹北高校）

③ 担当した業務

高等学校の予算管理データの作成

学校財産・備品の管理書類の作成

④ 感想・コメント

仕事しやすい環境で緊張感が和らぎました。

インターンシップ中は最後まで自分の出来ることをやり遂げたいです。



① 所属名

教職員課

② インターンシップ生配属人数（学校名）

1 名（宝塚高校）

③ 担当した業務

研修会のアンケート集計

教員免許関係書類の発送準備

④ 感想・コメント

教師になるために必要な話が楽しく聞けました。これから、大学で中高の社会の教員免許を取得して、教師になれるように頑張りたいです。



① 所属名

学事課

② インターンシップ生配属人数（学校名）

2 名（松陽高校、宝塚東高校）

③ 担当した業務

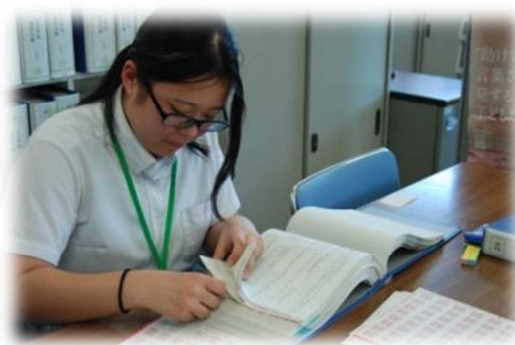
施設の台帳整理

新しい小学校の見学

④ 感想・コメント

小中学校に先生以外にも多くの人に関わっていることを知りました。

インターンが終わるまでに今の仕事をしっかりやり遂げたいと思います。



① 所属名

福利厚生課

② インターンシップ生配属人数（学校名）

1 名（尼崎小田高校）

③ 担当した業務

六甲荘での会議の準備、受付
メンタルヘルス相談センターの見学

④ 感想・コメント

普段経験できないことを出来ました。
自分の仕事を最後までやりきりたいと思います。



① 所属名

義務教育課

② インターンシップ生配属人数（学校名）

2 名（宝塚高校、姫路南高校）

③ 担当した業務

数学・理科甲子園ジュニアのアンケート入力
データ処理及び資料作成

④ 感想・コメント

インターンシップを通して出来なかったことを出来る
ようになりたいです。
今回学んだことを明日につなげたいと思います。



① 所属名

特別支援教育課

② インターンシップ生配属人数（学校名）

1 名（千種高校）

③ 担当した業務

技能検定の結果集計
特別支援学校の修学旅行予定作成

④ 感想・コメント

特別支援学校の教員になりたいので夢に役立つことを知ることが出来て嬉しいです。



① 所属名

高校教育課

② インターンシップ生配属人数（学校名）

2名（宝塚高校、神戸鈴蘭台高校）

③ 担当した業務

電話対応

ホームページ掲載記事作成

④ 感想・コメント

作業や電話対応が多かったです。

自分の作成した記事がHPに掲載されると、達成感があります。



① 所属名

社会教育課

② インターンシップ生配属人数（学校名）

2名（伊川谷北高校、川西明峰高校）

③ 担当した業務

県立美術館の受付業務

起案・報告書の整理

④ 感想・コメント

間違いの1つ1つに気づくのが大変でした。

コミュニケーションが大切ということが分かりました。



① 所属名

文化財課

② インターンシップ生配属人数（学校名）

2名（松陽高校、武庫荘総合高校）

③ 担当した業務

ホームページの更新作業

資料の見出し貼り

④ 感想・コメント

これまで知らないことを知れると嬉しかったです。

これからの学校生活ではコミュニケーションをたくさん取ってみたいです。



① 所属名

体育保健課

② インターンシップ生配属人数（学校名）

1 名（神戸甲北高校）

③ 担当した業務

神戸常盤アリーナの見学

食育に関する会議の運営補助

④ 感想・コメント

職場でのマナーやコミュニケーション能力が学べました。

インターンシップでの経験を踏まえて将来の夢に活かしていきたいです。



① 所属名

スポーツ振興課

② インターンシップ生配属人数（学校名）

1 名（姫路飾西高校）

③ 担当した業務

スポーツ週間啓発用のティッシュの表紙作成

書類のとりまとめ

④ 感想・コメント

上下関係を意識して礼儀を大切にしたいです。



① 所属名

人権教育課

② インターンシップ生配属人数（学校名）

2 名（宝塚高校、神戸高塚高校）

③ 担当した業務

講義、講習時の資料作成 資料の印刷など

④ 感想・コメント

様々な人権について考えることが出来ました。

学校では学べないパソコンの操作や電話対応を学ぶことが出来ました。



インタビュー記事（写真撮影・構成含む）はインターンシップ生の作成によるものです。

最初はインタビューの内容をわかりやすく相手に伝えることや、発言要旨を正確にメモすることが難しく、上手く出来ませんでした。インタビューの回数を重ねることで、相手にきちんと伝えることや、写真を撮る角度の工夫も出来るようになりました。

教育委員会事務局各課の仕事を取材することで、教育委員会全体の仕事を知ることが出来ました。このインターンシップで学んだことや経験を将来に繋げていけるようにしたいと思います。

インターンシップの取材をさせていただいた皆さん、ありがとうございました。

総務課インターンシップ生 内田 怜奈 ・ 妹尾 和葉



●定例教育委員会での主な審議事項等（8月）

★第9回（H29.8.3）

- ・「平成29年度 第2期『ひょうご教育創造プラン』平成28年度取組状況」報告及び「平成29年度教育委員会の点検・評価（平成28年度実績）」決定の件
- ・重要無形文化財保持者の認定等について
- ・国登録有形文化財（建造物）の登録について
- ・「兵庫県スポーツ推進計画」の進捗状況及び平成29年度取組について

※会議録及び会議資料は、教育委員会ホームページの教育委員会会議でご覧いただけます。

県教委TOPICS

●「数学・理科甲子園ジュニア2017」開催（H29.8.18）

数学・理科等の知識・理解をもとに、日常生活と関連づけながら活用する能力を磨き、科学好きの裾野を広げることを目的とした中学生を対象の「数学・理科甲子園ジュニア2017」が、神戸国際展示場で開催され、県内の中学校66チームが参加しました。

予選では、筆記競技「数学・理科に関する問題」に取り組み、上位24チームが決勝の実技競技に進出しました。決勝では、実技競技「指定された条件で、紙のみを使って強度を競う問題（理科）」と、「折り紙を使って、図形を作る問題（数学）」にチーム3人が力を合わせて挑戦しました。

優勝・準優勝チームの6名は、兵庫県代表チームとして12月に茨城県つくば市で開催される科学技術振興機構主催の「第5回科学の甲子園ジュニア全国大会」に参加します。

※決勝の結果等はワンショットニュースからご覧いただけます。



●平成29年度「ひょうご・ロシアハバロフスク青少年スポーツ交流事業」（H29.8.22～8.27）



スポーツ交流＝市立明石商業高等学校

スポーツを通じて相互の文化を理解し、国境を越えた交流を深めるとともに、グローバルな視野と感覚を身につけた青少年を育成することを目的とした「ひょうご・ロシアハバロフスク少年少女スポーツ交流事業」の訪問団として、ロシア・ハバロフスク青少年スポーツ交流団が、5泊6日の日程で本県を訪れました。

平成22年度からスタートした本事業では、これまでにバレーボール、バスケットボール、柔道による交流を実施しています。

8回目となる今年度は、ハバロフスク地方青少年女子バレーボールチームと兵庫県高等学校女子バレーボールチームが、バレーボールを通じたスポーツ交流を行いました。

8月23日（水）には、役員3名と選抜選手10名による訪問団が、高井教育長を表敬訪問しました。記念品贈呈等のセレモニー後に設けられた歓談の時間では、ロシアと日本における部活動の実施形態の違いなど、興味深い意見交換も行われました。



ロシア・ハバロフスク青少年スポーツ交流団と記念撮影
＝県庁3号館教育委員会室

●県立上郡高等学校が県庁の緑化に取り組んでいます

9月には、県立上郡高等学校の園芸科の生徒による作品です。大きさや色も形も様々な石を素材のメインとした作品のテーマは「ロックガーデン」。敷き詰められた石と植物の絶妙な配色と配置は、まるで日本庭園のようです。



展示期間は9月末まで。県庁にお越しの際は、是非お立ち寄りいただき、生徒達が学んだ庭造りの技術がたっぷり詰まった作品をお楽しみください。



県立上郡高校の作品

※学校 PR 等は[ワンショットニュース](#)で発信しています。

県立学校の取組報告

●県立和田山特別支援学校における県立生野高校との交流及び共同学習

本県では、障害のある生徒の経験を広め、社会性を養い、豊かな人間性を育てるとともに、障害のない生徒の障害に対する正しい理解と認識を深め、地域社会の一員として生きる力を共に育むことを目的として「特別支援学校と高等学校との交流及び共同学習実施事業」を推進しており、平成29年度は県立特別支援学校15校及び県立高校15校で取組が進められています。



3年英語会話(県立生野高等学校にて)

実施校の一つである和田山特別支援学校では、重点取組課題を「自尊感情や積極的に社会に参加する態度の育成、自分の役割や責任を自覚し、自ら学ぼうとする力の涵養」と定め、キャリア教育の推進との関連を明確にして取組を推進しています。

年間を通した生野高校での授業や、文化祭・体育大会・芸術鑑賞会・キャリア教育講演会等の学校行事への参加のほか、同校の学習発表会「なごみカーニバル」への生野高校生徒の参加など、交流の範囲は年々広がっています。

【西井拓海さん(平成29年3月卒業)の応募作品が参議院創設70周年論文で優秀賞受賞】

「私が国会議員になったら実現したいことー私たちが望む未来ー」をテーマに、参議院が募集した論文コンクールに、和田山特別支援学校高等部3年生在学中に応募した論文「当事者の声を伝えるために」が、7,074通の応募作品のなかから優秀賞に選ばれました。

西井さんは、同校高等部1年生在籍時から月1回程度、生野高校の授業に参加していましたが、3年生在籍時には生野高校文化祭に準備段階から参加し、ホームルームの中で活動。授業や昼食の時間を共に過ごすなかで、同世代の生徒との交流や相互理解が深まりました。

「障害のある当事者目線の政策」を提案した受賞論文では、自身の体験を元に、「高等学校での交流学習の積極的な推進の必要性」についても述べられています。「共生社会」の実現に向けて、交流及び共同学習事業の一層の推進が期待されます。



参議院で行われた表彰式の様子
(前列右から1人目が西井拓海さん)

※和田山特別支援学校の[ホームページ](#)はこちらからご覧いただけます。

今後のイベント情報

★県立美術館・博物館魅力発見事業

『人と自然の共生を親子で体感！まるごと県立コウノトリの郷公園』を開催します

我が国における鳥類研究の第一人者である山岸園長自らが、コウノトリの保護・増殖及び野生復帰事業に取り組み、絶滅したコウノトリを再び日本の空によみがえらせた県立コウノトリの郷公園の見所、魅力を紹介します。親子で人と自然が共生する環境づくり等を体験できる貴重な機会です。

○日時 平成29年10月1日(日) 13時受付 13時30分～15時30分

○場所 県立歴史博物館(姫路市本町68)

○イベント内容 郷公園魅力発信トーク、出張郷公園体験コーナー
山岸園長と参加者の交流トーク

○参加方法 要事前申込

※詳しくは[県立コウノトリの郷公園ホームページ](#)をご覧ください。



★美術館・博物館等の催し案内

施設名	主な催しもの	期間
県立美術館	特別展 大エルミタージュ美術館展 オールドマスター 西洋絵画の巨匠たち	H29. 10. 3(火) ～ H30. 1. 14(日)
県立人と自然の博物館	トピックス展 ブリキのカメ展 カメの玩具にあらわれる外来種の影響	H29. 7. 15(土) ～ H29. 10. 15(日)
	緊急速報展 ヒアリとアカカミアリ	H29. 7. 1(土) ～ H30. 1. 8(月祝)
県立歴史博物館	特別展 ひょうごと秀吉 ー近年の新紹介資料を交えてー	H29. 10. 7(土) ～ H29. 11. 26(日)
県立考古博物館	開館10周年記念特別展 青銅の鐸と武器ー弥生時代の交流ー	H29. 10. 7(土) ～ H29. 11. 26(日)
県立考古博物館加西分館 「古代鏡展示館」	開館記念展2 三彩の俑たち 唐王朝のたたずまい	H29. 9. 7(木) ～ H30. 3. 13(火)